公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和8年7月7日

施設名	塩見記念青少年プラザ	所管課	教育委員会生涯学習課

1　施設の概要

指定管理者名	(特非)たびびと	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設所在地	高知市小津町6－4		
業務内容	・施設の利用の許可に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること ・主催事業を計画し、実施すること ＜令和7年度主催事業＞ ・図書館ボランティア　・本のバザー(夏・冬)　・あそぼうや(全2回)　・電気の不思議　・空手教室 ・高知城英語ガイド(春・秋　全6回)　・オカリナ教室(成人)(全5回)　・障害者理解のためのふれあい教室　・あしながバザー　・けん玉教室　・将棋教室　・本の譲渡会　・災害パネル展　・塩見プラザ防災教室　・SNS事業		
施設内容	青少年教育施設として、「青少年に対し、主体的な活動の場を提供することにより、青少年の社会性を養うとともにその健全な育成を図る」という設置目的に基づき運営している。 構造:鉄筋コンクリート5階　延べ1,597.17㎡ 施設概要:駐車場、駐輪場(1階) 事務室、少年サポートセンター(事務室、相談室、面接室)(2階) 教育相談研究所(事務室)、小中PTA連合会(事務室)、会議室、 共用相談室、音楽スタジオ(3階) まんが図書館、学習室、トークサロン、やまもも(事務室) PRINK思春期相談センター(事務室、相談室等)(4階) 多目的室、倉庫(5階)		
職員体制	【R7当初】 職員:館長1名　チーフ兼会計1名　事務員5名　アルバイト3名　　合計:10名		

2　収支の状況

(単位:円)

		R06年度(決算)	R07年度(決算)	R08年度(予算)
収入	県支出金	22,491,000	22,348,000	23,320,000
	事業費収入	177,370	160,567	189,000
	収入計(a)	22,668,370	22,508,567	23,509,000
支出	事業費	749,940	728,533	875,000
	管理運営費	8,714,316	8,287,250	9,628,000
	人件費	12,118,828	12,072,365	11,919,000
	消費税	1,086,380	1,069,100	1,087,000
	支出計(b)	22,669,464	22,157,248	23,509,000
収支差額(a)－(b)		△ 1,094	351,319	0

使用料収入	1,655,510	1,763,248	1,503,000

3　利用実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	平均
利用者数	26,782	27,209	35,283	40,855	40,734	34,173

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	・文教地区の立地を活かした施策を講じ、利用拡大への取り組みが実施されている。 ・利用者数の上限を35,000人程度に設定したい意向については、設置者である県教委との調整が必要だろう。施設の人員と利用者数とのバランスを考える機会を作ってみてはどうか。 ・利用者の使用態度に課題が生じており、使用する青少年にとどまらずその保護者の対応も難しくなっている状況を踏まえ、警察や補導センターとの連携も進めていることは、よい対応であろう。 ・3.11のパネル展や新たな事業も取り組んでおり、工夫がみられる。 ・管理代行に関する基本的な考え方にある「青少年に対し、主体的な活動の場を提供することにより・・」に沿って、主要な利用者である青少年の発想や行動力を活かし伸ばすような主催事業やその発想や行動力を反映する館運営を実践していただきたいです。 ・近隣の学校関係への広報が功を奏している。 ・都市部の優れた立地を活かし、近隣の小中学生及び高校生を中心に利用者を確保できている。
②利用者へのサービス向上のための改善策	・利用者の層が変化しているため、学校や他の県の機関とも連携して臨機応変に対応している。 ・アンケートや意見箱で情報収集を行い、試験情報の聞き取りを行うなど、利用者に合わせたサービス向上に取り組んでいることは評価できる。 ・施設の人員が増やせたら4階に常勤職員を配置したい。利用者の見守りや使用状況などが把握できるが費用的に困難なため、張り紙やドアの開閉などで工夫している。 ・新刊図書を積極的に懸架していることは素晴らしいです。以前に実践されていた外部の方の推薦図書を懸架する取り組みもふたたび実施していただきたいです。たとえば「〇〇が読んで感動した1冊」「〇〇が読んで人生が変わった1冊」というタイトルで〇〇に入るのは知事、市長、警察署長、消防署長、県議会議長、県内大学学長、県内の企業の社長や高知を代表する食材を生産する業に従事する方などです。 ・会議室の開放等施設の効率的な活用が行われており、利用者へのサービス向上につながっている。 ・アンケ―トや来館時の利用者とのコミュニケーション等により、ニーズの把握に努め、８月の休館日を廃止する等サービスの向上に取り組んでいる。
③施設の運営について	・状況に応じてしっかりと対応ができている。 ・安定した運営が実現されている。 ・定員オーバー時の臨機応変な対応などに配慮がみられる。また、災害時対応についてもセミナーや訓練を実施する等、日常以外のところにも気を配っている。 ・監視カメラの設置など、安全対策の促進が急がれるので、県教委とも連携して予算確保や施設設備充実に努めて欲しい。 ・青少年の知識欲や学習欲を伸ばして育てるための設備や事業を実践していただいていますが、この目的を理解できていない若者の対処方法を県担当課と共に対策を考えて手を打つ必要があります。たとえば、初めての利用者にはこの施設の性質や利用方法について説明して理解してもらうためのガイダンスの受講を義務づける、利用者は必ず利用方法や注意事項が書かれた利用カードを保持して館内で過ごす、という方法があります。利用カードは利用の都度受付で渡してもらい、重要事項を読んでチェックマークをつけてから利用開始する、というイメージです。ゴルフ場を利用する際にクラブハウスでゴルファーは利用者名簿に自分の氏名を記入しますが、その際には場内でのマナー（クラブハウス内では脱帽、半ズボン着用時にはハイソックス着用など）やルール（適正なスコア付け、違反事項に対するペナルティなど）を確認した上でサインをすることになっています。それと同じ要領です。 ・中学生の利用者が増加する一方、利用状況が芳しくなく、今後対策が必要と思われる。 ・健全かつ持続可能な運営を考慮した利用者数確保のあり方について指定管理者と設置者である県の意思疎通が必要であると思われる。

④利用実績		・中学生の利用が増加している。 ・利用者数はほぼ横ばいであるが、過去5年平均は大幅に上回っており良好と思われる。 ・利用者数は前年どおりであり、2年連続で4万人を超え、青少年に多く活用されている。 ・活用の決まりやルール作りが必要な現状になっている。利用者には一定のレクを行いルールを把握させ、みんなが安全で楽しく活動できる施設になるよう、一層努めて欲しい。 ・利用者人数の増加に努めています。 ・令和6年度まで増加していた利用者数が令和7年度は頭打ちとなったが、業務状況の説明を考慮すると、飽和状態であることも考えられる。今後更なる業務改善に取り組むか、受け入れ方法について検討する必要があると思われる。
⑤収支の状況		・色々な策を講じ、経費の削減に努め、収支を黒字としたことは評価に値する。 ・健全である。 ・予算内で収まるよう管理をしてくださっています。 ・防犯カメラや防犯対策につなげる費用については予算化を図って早期に対策を講じていただきたいです。スタッフの皆さんも警察当局や警備会社の協力を得て防犯訓練を定期的に実施して、万一の際に備えていただきたいです。 ・事業費及び管理運営費では予算を下回り、人件費は上回る支出であったが、全体として予算内に収まる状況であり評価される。 ・施設使用料もR6年度を上回っており、良い状況である。
総合評価	A	・利用者の大半が中高生であるため、通常業務の中で運営以外の諸問題も発生している中で、試行錯誤し問題解決にも取り組んでいることは評価に値する。利用者ファーストで運営を行っていることも評価できる。 ・職員の運営に対するノウハウが確立され、安定的な経営ができている。 ・利用者の使用態度等が悪化するなかでの、ルール作りや安全対策における関係団体や組織との連携を一層図ってほしい。 ・適正かつ必要な対策を講じてください。不明な点がある場合は県担当課や評価委員に問い合わせをおこなってください。 ・指定管理者の努力により、安定した利用者数の確保と業務の充実が図られ、概ね良好な施設運営が為されている。 ・今後は過剰な利用需要への対応と変化する青少年の特性を鑑み、施設の秩序維持への対策が課題となると思われた。 ・引き続きこれらの課題解決に向けて、関係機関等との連携・協力や設置者である県の支援が必要であると考える。

【評価の目安】
A：仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
B：おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
C：仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
D：管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。
　また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。